

辰口東部地区振興会とのタウンミーティング

2019.1.31（木）19：00～20：30

宮竹コミュニティセンター

○参加者 市民 約45名

○タウンミーティング議事録

●辰口東部地区振興会 会長 あいさつ

●市長あいさつ・市勢報告

- ・市の現状と課題
- ・新年度予算編成方針、政策目標5本柱
- ・辰口東部地区周辺の開発状況

●意見交換

1、土地利用について

（市民）

- ・宮竹町の宅地が不足し、宮竹小学校校下の児童数が減少している。東部地区の人口を増やし、地区の活性化のために宅地整備が必要と考えている。
- ・宮竹～三ツ口間県道北側の農地を宅地に転用するには、1筆あたりの面積が広いので、これを2筆に分割し住宅建築ができるようにする考えはあるか。
- ・宮竹～三ツ口間県道南側と保育所間の農地は住宅地に適していると思うが、この土地を宅地開発する考えはあるか。
- ・宮竹～灯台笹間県道沿いの農地は、狭いものが多いが、これを宅地化する考えはあるか。

（市長）

- ・人口が減っていることは気にしている。この地区は保育所もきれいで、金沢にも近く、魅力がある地区である。しかし、優良農地であり転用にはハードルが高い。
- ・町会の一部に宅地造成ができるところがあるが、私有地のため、所有者と話し合いをして宅地にしていくのが近道である。
- ・人口減少については、地域の皆さんも、ここに住んで欲しい、良い所だと次の世代に伝えていって欲しい。
- ・いずれの土地も優良農地だと思われる。詳しくは個別に後日説明する。

(市民)

- ・優良農地とは何か？

(市長)

- ・農業振興のためにしか利用できない土地であり、国と県が指定している。
- ・また、宮竹用水の白山頭首工工事を実施しているため、８年以上は農地として利用しなければならない。

2、公共交通について

(市民)

- ・今後ますます高齢化が進むことから、高齢者の公共交通手段の確保を行って欲しい。のみバス・J A I S Tバスの高齢者と小学生の利用を無料化して欲しい。

(市長)

- ・のみバスは2020年の改正に向けてアンケート調査を実施した。それを分析して有識者や市民と協議をして運用を考えていく。
- ・のみバス運賃は100円で、割引する定期券等も発行している。
- ・フリー乗降は、定時運行をするため、また交通上の危険があるために実施していなかったが、家が点在している地域については検討する。

(市民)

- ・J A I S Tバスはほとんど乗客無しで運行しているように見える。J A I S Tバスに乗れるようにして欲しい。バスの中で地域とのコミュニケーションも取れるようになって活性化になる。

(市長)

- ・市民は申請すればJ A I S Tバス（JAIST～北陸鉄道石川線鶴来駅）に乗ることができる。

(市民)

- ・申請がなくても乗れるようにして欲しい。

(市長)

- ・J A I S Tへご要望を伝える。

(市民)

- ・小松市内の高校へ行っているが、アクセスが悪い。何か考えて欲しい。

(市長)

- ・どれだけ需要があるのか調査したが、専用バスを運行するほどの需要が無かった。2～3人しか乗らないようでは難しい。

(市民)

- ・小松のバスと（乗継できるように）バスの時間を合わせてはどうか。

(市長)

- ・需要を民間バス会社へ伝えている。
- ・通学バスを保護者で用意する場合、助成金を出しているがなかなか利用がない。

(市民)

- ・フリー乗降のバスを実施している地域があると思う。どのように運行しているのか、どんな課題があるか検討して欲しい。
- ・辰口図書館の駐車場を広くすると言っていたが、子どもは車を運転できない。子どもがひとりでも行けるようにバスのルートを考えて欲しい。
- ・新車のバスを購入すると聞いているが、今ある台数より増えることになるのか。

(市長)

- ・のみバスは3台入替をするので台数は増えない。
- ・図書館へのアクセスも考えている。

(市民)

- ・町会長として公共交通会議に出たことがあるが、ルートについて意見を言っても反映してもらえなかった。意見は、早い段階で聞いてほしい。

(市長)

- ・アンケートをしてそれに基づいてルートを決めて、会議で有識者や地域の代表にご意見を聞いた。
- ・すべての意見を聞くことはできないので、誰に意見を聞くべきかについても含めて慎重に検討していく。

(市民)

- ・ J A I S Tバスは鶴来へ行くが、のみバスは鶴来へ行くのか？

(市長)

- ・ 行っている。

(市民)

- ・ 鶴来病院にも行きたい。

(市長)

- ・ そのような要望に応じてきたところ、あちらこちらへ行くルートになり、時間がかかりすぎとなって、利用者が少なくなった。そこが反省点となっている。
- ・ 目的地に早く着くようにするには、効率的なルートを考えなければならない。

3、道路整備について

(市民)

- ・ 宮竹町だけでないが、町内には空き家、空き地が点在し空洞化が進んでいる。道路幅が狭く、車の出入りがしづらい。市による除雪も対象外となっている。利便性、防災の観点からも対策を講じてほしい。
- ・ 土地の有効利用のためにも、町内の道路整備、街区整理が必要と考える。市として、町会と連携して検討組織をつくる等の考えはあるのか。

(市長)

- ・ 検討している。

(市民)

- ・ 会社で7年前にアパートをつくった。そこの住人は道路が狭く通行に不便している。土地を交換して道路を広げられないか手を尽くしてきた。
- ・ 宮竹町には県道と農免道路をつなぐ道路がない。大型車が通れる道をつくったらよい。
- ・ 住んでいる人に思いやりの心がないと空き地に人は引っ越してこない。

(市長)

- ・ ご意見としてお聞きする。

4、道路整備について

(市民)

- ・能美市からの転出防止策として、例えば長滝から国造地区を経由し小松へ行ける道路整備を進めてはどうか。道路があれば別荘地的になって活性化になるのではないかな。

(市長)

- ・子育て環境の整備、雇用の場を確保するなど移住定住促進策を進めている。能美市はいい所と感じてもらえるようにシティプロモーションの推進にも力を入れている。
- ・ご提案の道路整備には、試算したところ6億円程かかり、また、県の放牧場があるため難しいと考えている。
- ・市内の道路補修等も必要であり、優先順位からすると難しい。

5、土地利用について

(市民)

- ・サイエンスパークの土地活用や住宅開発を進めるため、石川県から土地の払い下げに取り組む等の具体的な取り組みを示して欲しい。

(市長)

- ・ご指摘のとおりであるが、払い下げするには相当な金額が必要。開発は市単独ではなかなか難しい。石川県の協力を得ないと開発できないと思っている。
- ・県も市も取り組んでいるが、うまく進まなかった事例があった。
- ・県内に数か所の工業用地があるが、サイエンスパークの用地には上乘せで補助する制度もある。
- ・加賀産業開発道路沿いにある、J A I S Tと連携できる、津波の影響がないといった強みなどを活かし、石川県と協力しながら進めていく。

6、自然保護について

(市民)

- ・灯台笹湿地が雑草や雑木により乾いてきているので、谷川の水を引き込む等の環境保全対策を進めて欲しい。道も悪くなってきて、場所がよくわからなくなっている。ハッチョウトンボの生息地としてPRしている以上は、わかるようにしておいて欲しい。

(市長)

- ・雪がなくなったら現地を確認して、相談する。ポンプをつけて水をひけるようにしたとは聞いている。

7、交通安全について

(市民)

- ・ 県道の制限速度 60 km/h 化を検討しているそうで、昨年警察から照会があった。ガードレールの設置等の交通安全対策について検討してほしい。

(市長)

- ・ 警察に市から確認した。1 年くらいかけて 60 km/h にしていきたいとのことであった。市としても安全対策を検討していく

8、道路管理について

(市民)

- ・ 農免道路の岩本～灯台笹間は東部地区の幹線道路であり、景観の保持のためと、ゴミ投棄の誘因とならないように、除草を年 3 回実施して欲しい。今は年 1 回除草となっているが、国交省は年 2 回していて、市の管理のところが除草されないと非常に目立って景観が悪い。

(市長)

- ・ 年 3 回はできないが年 2 回除草するようにする。

9、定住促進について

(市民)

- ・ J A I S T には 900 人が在籍している。能力のある学生が卒業後、市内企業へ就職したり、市内に移住したりするように市として取り組んでいるのか。

(市長)

- ・ 学生向けの市内企業見学や交流イベントを実施しているが、現状は就職する人は確かに少ない。
- ・ カリキュラムや研究を市内企業の要望をうけて決めているということもしている。
- ・ J A I S T には地元企業と学生がつながる奨学金制度もある。
- ・ 市外に住んでいる学生が 25% いる。民間と協力して、学生さんが住むところをつくっていけたらと思っている。町会のご協力もお願いしていきたい。
- ・ 今後も学生・教授と企業が交流を深めることができるようにしていきたい。

(市民)

- ・ 能美市が移住定住策を推進して、成果も出ているようですが、サイエンスパークが企業

誘致に適しているのかと思っている。

- ・宮竹町からサイエンスパークへ登っていくところを、民間資本で宅地も含めて開発できないのかと思っている。
- ・獅子吼から手取川扇状地の夜景がすばらしいと言われている。県道も拡幅されて未来性のあるところだと思うので、民間資本の活用をしていって欲しい。

(市民)

- ・J A I S T周辺の土地を石川県土地公が取得した。簿価と売価の差額が大きく売れていない。開発ができるよう前向きに検討をお願いしたい。

(市長)

- ・前向きに取り組んでいく。

10、その他

(市民)

- ・宮竹コミュニティセンターは福祉避難所になっているが、使い勝手はどうかと思う。高齢者は2階に上がるのも大変でありトイレも洋式はひとつだけである。建物も古くなってきた。

(市長)

- ・一時避難所となっている。冷暖房も畳もある。他の地域で災害があったときの避難所は体育館であり、劣悪な条件であった。

(市民)

- ・高齢者には階段はきつい。

(市長)

- ・高齢者でもお元気な方もいる。災害があったときは、助け合ってほしい。

(市民)

- ・農地について、30年経ったらコメを食べる人がいるのかと思う。コメがいらなくなるのではないかと、農地がいらなくなるのではないかと。農業振興についてどう考えるか。

(市長)

- ・農業振興については、農産物の輸入品が多くなって、多様化している。全国的に同様の状況である。能美市では水稲以外の作物を奨励し、助成金を出している。

- ・農地は、原風景であり、水害防止・水保全のため守っていくべきだと思う。開発するには制限があり、条件をクリアしないとできない。その制限も緩和されてはいるので農業を守りつつ開発もしていきたい。たとえば辰口フラワーハウスの跡地も農地であるが、農業振興のための建物であれば開発をしても良いことになっている。

(市民)

- ・農地の集約ができないか。米だけでなく他の作物もできないのか。

(市長)

- ・この地域は整備されている。柚子や丸いもをつくり有効活用している地域もある。今後、その進め方と度合いについて考えていく。

(市民)

- ・人手不足で、外国人の就労が多くなっているということですが、外国人が安心して働けるよう、付近の住民が安心して住めるような施策を考えているのか。

(市長)

- ・来年度は、もっと支援を進めていくよう考えている。

●市長あいさつ

- ・東部地区の方は、この地域を大切にしている、一体感があると感じる。
- ・サイエンスパークのことは、思うように進まないのは私自身も歯がゆい思いをしている。
J A I S Tとの連携、加賀産業開発道路の利便性を前面に出してご期待に沿えるようにしていく。
- ・宮竹地区のまちづくりをサポートするメニューを考えている。参画をお願いしたい。